

軽量で、加工性・耐食性に優れた **ステンレス複合材**

小ロット・短納期が
可能です

アルポリックSCM™

アルポリックSCM™は面材にステンレスを使用したステンレス複合板です。
ステンレスが持つ高級感のある意匠と高い耐食性を備えています。
さらに、複合板にすることによって、ステンレス単板よりも軽量化を図れます。

特長

耐薬品性

ステンレス面材のため、耐薬品性・耐食性に優れています。

耐食性

軽量性

曲げ等価剛性においてステンレス単板より約2/3の重量軽減が図れます。

加工性

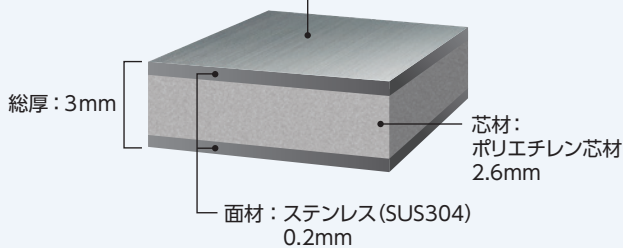
曲げ加工性に優れ、円柱巻きなどに適しています。

フラット性

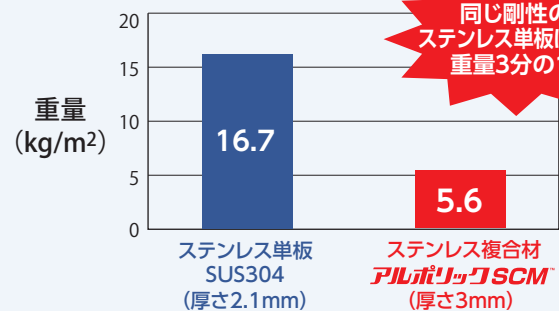
積層効果により、板の平面性が優れています。

素材構成

表面仕様：
ヘアライン、No.8 鏡面 (受注生産品)



ステンレス単板との比較(等価剛性)



用途例

アルポリックSCM™はステンレス面材を使用するため、耐薬品性・耐食性に優れ、掃除しやすく清潔に保てます。また、軽量で多様な加工が可能のため、厨房(火気周辺を除く)・キッチンパントリー・食品工場・病院など幅広い用途でご使用いただけます。

厨房、
食品工場用
カート



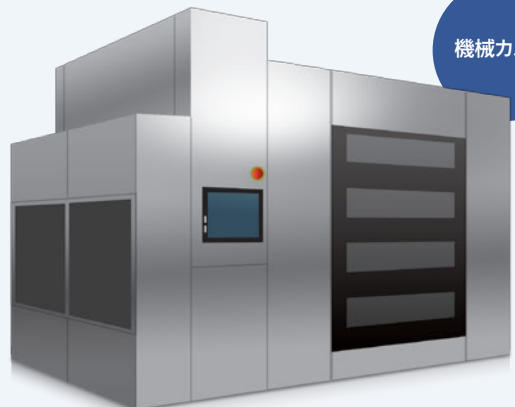
医療施設用
カート・
キャビネット
(天板)



加工 はこ折り、円柱など
多彩な加工が可能です



機械カバー



仕様

板厚 (mm)	表面仕様	面材	芯材	定尺サイズ (mm×mm)	基本受注 (枚/ロット)
3	・ヘアライン ・No.8鏡面 ※受注生産品	ステンレス (SUS304)	ポリエチレン芯材	910×1,820 910×2,440	2

※仕様や規格は予告なく変更することがあります。

物性

項目 (単位)	比重	重量 (kg/m ²)	熱伝導率 (W/m・K)	線膨張係数 (1/K)	引張強度 (N/mm ²)	曲げ弾性率 (N/mm ²)
物性値	1.87	5.6	0.39	12~19×10 ⁻⁶ [下記条件下にて] 20℃~60℃ 幅30mm,長さ150mm	82	67,000
算出方法	計算値	計算値	計算値	ASTM D696	計算値	計算値

※上記の数値は、弊社測定値又は計算値であり、保証値ではありません。

設計・施工の前に必ずお読みください

- ⚠ 切断面は大変危険ですので、手を切る恐れがあります。保護手袋を使うなど取扱いにはできるだけ慎重に行ってください。**
- 端部(こぐち)がステンレスを侵す環境(特に海岸部等)では注意してご使用ください。
 - 表面材はステンレスであり、湿潤状態で異種金属と接触しますと電位差によって、電食が発生します。接合に使用するリベット・ボルト類は、電食等を考慮し、材質の選定を行ってください。
 - 表面の保護フィルムは直射日光・湿気により劣化し、糊残り等の問題をおこす恐れがありますので、乾燥した室内に保管するようにしてください。また施工完了後は速やかに剥がしてください。
 - 保護フィルムの上から接着テープやマジックを使用すると、表面にその跡がうつることがありますのでご注意ください。
 - ボード等の下地に、両面テープと弾性接着剤を併用して施工してください。接着剤が硬化する際の収縮により、表面にゆがみが発生する恐れがあります。塗布量が不均一にならないようご注意ください。
 - アルポリックSCM™の熱変形温度はポリエチレン単体と比較して高く、約110℃前後です。そのため大きな力がかからず短時間であれば、100℃程度の高温にも耐えられます。ただし、実用上、高温雰囲気等で長時間使用する場合は70℃以下でご使用ください。
 - 表面材はステンレスのため、腐食のメカニズムはステンレス単板と同様に起こります。酸性やアルカリ性の物質(土やモルタル等)とは直接の接触を避けてご使用ください。
 - ステンレスプラスチック複合材ですので、割れにくい素材ですが、衝撃又は異物の挟み込みにより、打こん・へこみ・エッジの変形が発生する恐れがあります。運搬・保管・加工、および施工時には十分注意してください。
 - 表面仕様のうち鏡面を姿見等の用途としてご利用される場合には、ガラス鏡とは鏡像性が異なりますのでサンプルにて鏡像性を確認した上でのご使用をおすすめ致します。

アルポリックSCM™のメンテナンスについて

- ・アルポリックSCM™は、その表面に付着したごみやほこりを適宜清掃し、除去することによりいつまでも美しい外観を保つことができます。
- ・ステンレスは、アルミニウムや軟鋼に比べて、非常にさびにくい金属ですが絶対にさびない金属ではありません。使用条件や使用環境によっては、汚れることもさびることもあります。この原因としては、大気中に浮遊する鉄粉や有害ガス中の成分の付着、堆積、あるいは潮風に含まれている塩分の付着などがあげられます。

クリーニング方法

- ① 軽度の汚れの場合
中性洗剤や石鹸水のスポンジや布に含ませて拭き取り、水洗後乾拭きをしてください。
- ②①で落ちない汚れの場合
市販のステンレス用清掃薬液(有機溶剤(アルコール、ベンジン、アセトンなど)をスポンジか布に含ませて拭き取り、水洗後乾拭きをしてください。
- ③ さびがひどい場合
市販のステンレス用清掃薬液が硝酸の15%希釈液などを用いて除去してください。それでもさびが除去できない場合は、ステンレス面を多少傷つけてしましますがサンドペーパーやステンレスブラシなどでこすり落とすように研磨し、それから清掃薬液であらためて洗浄してください。

クリーニング上の注意

- ・酸性やアルカリ性洗剤を使用しますと、面材の腐食、艶落ち等しますので使用しないでください。
- ・汚れ、さびを除去するために、清掃薬液を使用する場合は、あらかじめ局部的に“ためし抜き”をして洗浄効果を確認してから全面にわたる清掃に着手してください。
- ・布、ヘチマ、ナイロン製のスポンジ、タワシ、ブラシなどの清掃用具を用いる場合は、必ずステンレスの研磨目に沿って平行に手を動かす様にしてください。円を描くように動かすと汚れが落ちにくく、また表面の光沢ラインがくずれ見た目の美しさを損ないます。

三菱ケミカル株式会社 高機能成形材料部門 機能成形複合材本部

アルポリック複合材事業部 国内営業グループ

本 社	〒100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1	パレスビル	tel.03-6748-7349	fax.03-3286-1354
北 海 道	〒060-0807 札幌市北区北七条西4-3-1	新北海道ビル	tel.011-746-6241	fax.011-746-7427
中 部	〒450-6419 名古屋市中村区名駅3-28-12	大名古屋ビルテック	tel.052-565-3584	fax.052-564-0216
大 阪	〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-1-1	明治安田生命大阪御堂筋ビル	tel.06-6204-8470	fax.06-6204-8474
九 州	〒812-0026 福岡市博多区上川端町12-20	ふくざん博多ビル	tel.092-262-9405	fax.092-262-5114

●本カタログ記載の内容については、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
●本カタログからの無断転載を禁じます。

www.alpolic.jp

文書No.L01241P11402
2017年4月1日改訂(YM)